

大会名 Competition	第28回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
No. M-107	Year Month Day Time 2015 年 5 月 4 日 10 : 35
場所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA 市立船橋 77 ○	<table border="1"> <tr><td>22</td><td>1st</td><td>20</td></tr> <tr><td>25</td><td>2nd</td><td>19</td></tr> <tr><td>18</td><td>3rd</td><td>19</td></tr> <tr><td>12</td><td>4th</td><td>11</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	22	1st	20	25	2nd	19	18	3rd	19	12	4th	11	OT			チームB 桜丘 69 ●
22	1st	20															
25	2nd	19															
18	3rd	19															
12	4th	11															
OT																	

主審:Referee
加川 真 宮城
副審:Umpire
堀内 昌浩 宮城
中村 浩仁 青森
テーブルオフィシャル:Table officials
能代高

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	平良 彰吾	CAP	9	1	3	0	5	4	×	鈴木 空	CAP	15	2	3	3	0
5	×	田村 伊織		2	0	1	0	1	5	×	桑 辰弥		11	1	3	2	1
6	/	野永 隆介		12	2	3	0	1	6	×	中尾 良平		10	0	4	2	0
7	×	白井 虎太郎		18	4	3	0	4	7		横山 遼太郎		-	-	-	-	0
8	×	越川 和紀		20	6	1	0	2	8	/	井上 涼		7	0	3	1	1
9	/	須田 恵哉		0	0	0	0	1	9	×	高木 稜梧		11	3	1	0	0
10	/	邱 文昊		4	0	2	0	1	10		Mbodj Lamine		-	-	-	-	0
11		菅原 幸人		-	-	-	-	0	11	/	中泉 智貴		0	0	0	0	0
12	/	赤川 建斗		0	0	0	0	0	12	×	Diagne Coulou		13	0	4	5	1
13		寺内 康介		-	-	-	-	0	13	/	大井 崇幹		0	0	0	0	0
14	×	赤穂 雷太		12	4	0	0	2	14	/	今田 涼斗		2	0	1	0	1
15	/	野崎 由之		0	0	0	0	0	15		佐々木 駿		-	-	-	-	0
16	/	保泉 遼		0	0	0	0	0									
17		増田 修大		-	-	-	-	0									
18		石塚 周太		-	-	-	-	0									
コーチ		近藤 義行						0	コーチ		江崎 悟						0
アコーチ		相川 宙輝						0	アコーチ		林 永甫						0
合 計				77	17	13	0	17	合 計				69	6	19	13	4

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

1Q、市立船橋マンツーマン、桜丘1-3-1ゾーンでスタート。最初の得点は市立船橋#14赤穂の3P。桜丘は#12Diagneのインサイド、#4鈴木（空）の3Pやドライブで連続得点して一気に8点のリードを奪う。しかし市立船橋も#7白井や#14赤穂の3Pで反撃し、徐々に点差を縮める。桜丘は#5桑のジャンプシュートで突き放すが、市立船橋は#6野永、#7白井の3Pで追撃し、#8越川のジャンプシュートで19-18と逆転する。桜丘は#6中尾がフリースローを確実に決めて再び逆転するも、市立船橋は#8越川が3Pを決め、22-20と2点リードで1Qを終える。

2Q、市立船橋は#7白井、#8越川のガード陣を中心に思い切りのいいアウトサイドシュートを打つ。これが高確率で決まり、リードを広げる。桜丘は#8井上のジャンプシュートや#9高木の3Pで反撃するが、市立船橋も#4平良や#8越川の3Pが落ちない。さらに市立船橋は#14赤穂のドライブに#5田村がうまく合わせてインサイドでも得点する。桜丘は#6中尾がオフェンスリバウンドから得点し、47-39となんとか点差を一桁にして前半を終える。

3Q、桜丘はディフェンスをマンツーマンに切り替え、流れを変えようと試みる。#4鈴木（空）のドライブや#9高木、#5桑のジャンプシュートで点差を縮めていく。しかし、市立船橋のアウトサイドシュートが止まらない。#8越川、#14赤穂、#8越川と3連続3Pでこのゲーム最大の13点差となる。桜丘はガード陣の果敢なドライブから相手のファウルを誘い、#5桑や#12Diagneのフリースローで何とか食らいつくが、リズムに乗り切れない。65-58と市立船橋がリードのまま3Qを終える。

4Q、市立船橋はアウトサイドに加え、速攻から#7白井が連続して得点してさらに流れに乗る。桜丘も#12Diagneがインサイドで連続して得点し反撃する。さらに桜丘は残り3分を切ってからオールコートでマンツーマンでプレッシャーを強めて逆転を狙うが、これをうまくかわした市立船橋が77-69で逃げ切った。市立船橋のアウトサイドシュートが目立ったが、#5田村、#10邱、#14赤穂のインサイド陣の攻守にわたるリバウンドでの奮闘も光った。

文責 【 難波 直弥 】